

第4章 良好な景観形成に関する方針

4-1 「眉山」、 「吉野川」 における景観形成方針

本市の景観構造や市民の持つ景観イメージからもシンボルとして存在する「眉山」と「吉野川」を重要な景観資源として保全し、後世に伝えていくための景観形成の方針を定めます。

(1) 「眉山」

<景観特性>

「眉山」は、名前の由来である「眉」のような形の稜線が大きな特徴です。もともと、淳仁天皇の兄にあたる船王が、聖武天皇の難波行幸にお供したときに「眉のごと雲居に見ゆる阿波の山かけて漕ぐ舟とまり知らずも」と万葉集のなかに詠み残したことが由来といわれています。「眉山」の名称は江戸時代後期以降に定着したとみられています。

美しい眉山の稜線や山並みは、市内のいたる所から望め、また中心市街地からは都市の背景として豊かな自然景観をもたらしています。見る場所によって様々な表情を見せる眉山は、市民の大切な心象風景となっています。



<視点>

眉山は、眉山風致地区に指定されていますが、山頂における鉄塔・通信施設の設置や眉山南部および西部の山麓にかけては斜面の開発行為が進むなど、稜線だけでなく山腹においても自然環境が失われつつあります。このため、無秩序（大規模）な開発行為などに対して適切な規制・誘導を行い、稜線や自然環境の保全に努めます。

方針

- 眉山風致地区内の無秩序（大規模）な開発行為などに対して適切に規制・誘導を行い、稜線や山並みなどの自然環境の保全に努めます
- 景観阻害要因となるような工作物等の設置抑制や修景に努めます
- 眉山を都市の象徴的な景観として保全します

(2) 「吉野川」

<景観特性>

「四国三郎」とも呼ばれる吉野川は、四国随一の流域面積を誇ります。また、河口は野鳥の生息地となっている四国一の干潟や葦原^{あし}などを有し、雄大な自然が保全されていることから、市民の大切な心象風景となっています。

<視点>

かつては暴れ川であった吉野川は、現在、河川敷にレクリエーション環境が整備されるなど、市民の暮らしのなかの憩いの場として深くかかわっています。こうした暮らしに密接な関係にある吉野川の雄大な風景の保全に努めます。



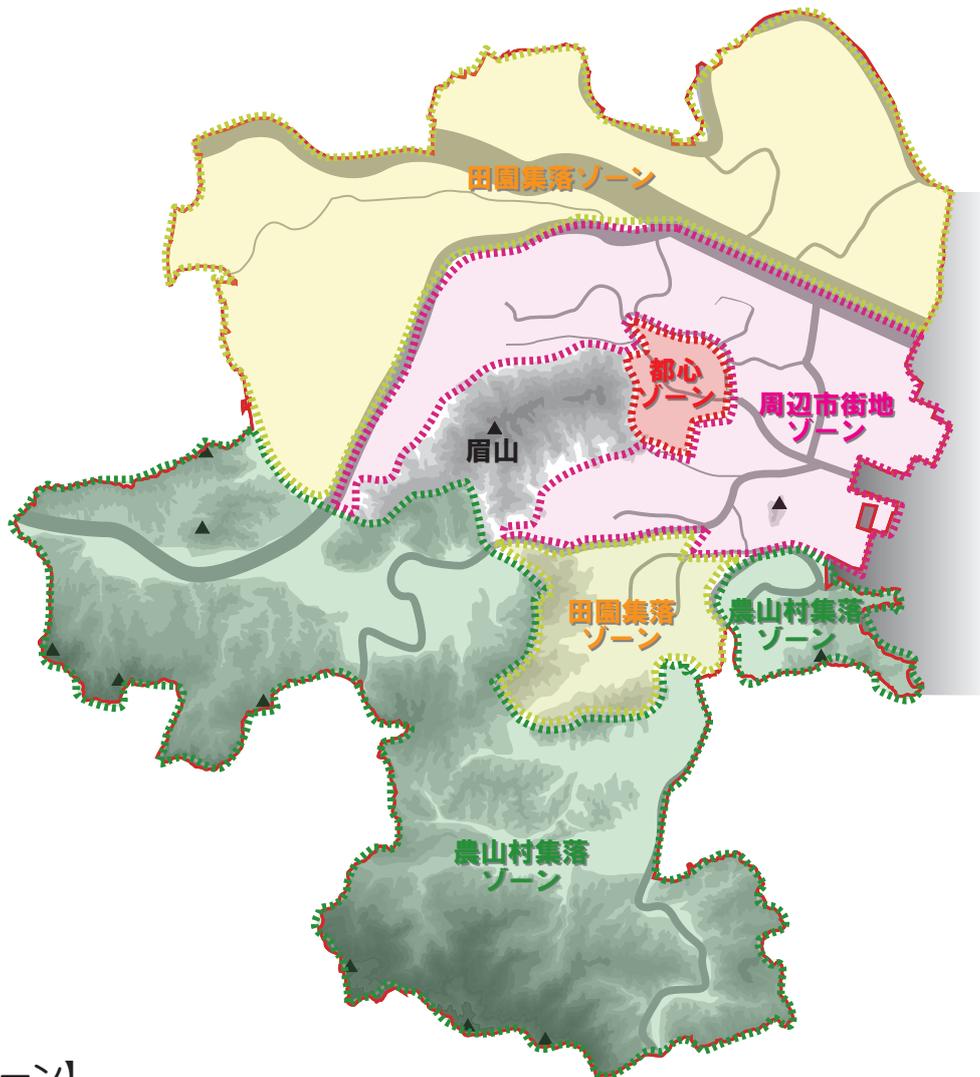
方針

- 橋梁や堤防、沿岸の鉄塔等、雄大な風景に影響のある人工構造物の修景や適切な規制・誘導を行い、自然景観の保全に努めます
- 河川敷を親水空間として整備することで、市民の暮らしと関わりを創りだします
- 干潟や葦原^{あし}などの自然環境や水質の保全に努めます

4-2 ゾーンごとの景観形成方針

本市の景観構造・特性から、風致地区である眉山を除く市域を4つのゾーンに分け、ゾーンごとの目標と方針を定め、まとまりのある景観形成を目指します。

各ゾーンは、JR 徳島駅を中心とする中心市街地である「都心ゾーン」、都心ゾーンを囲むように広がる「周辺市街地ゾーン」、吉野川流域を中心として田園風景と農村集落が広がる「田園集落ゾーン」、山と丘陵の間に集落が広がる「農山村集落ゾーン」の4つに分類しました。



【4つのゾーン】

都心ゾーン

徳島の中心部を形成するゾーン

JR 徳島駅、県庁、市役所や大型商業ビル、古くからの商店街など商業・業務などの中心的な機能が集積しており、中心市街地にふさわしい景観形成が求められます。

周辺市街地ゾーン

都心を囲むように広がる市街地を形成するゾーン

市街地として比較的高密度の土地利用が展開され、本市の景観を特徴づける眉山や多くの水路との新しい関わり方に基づいた景観形成が求められます。

田園集落ゾーン

のびやかな田園景観が卓越するゾーン

基調となっている田園景観を尊重しながら、幹線道路沿道や郊外の市街地としての景観形成が求められます。

農山村集落ゾーン

山間地の自然景観が卓越するゾーン

農山村集落の景観を特徴づけている周囲の山々や小さな川・水路を尊重した、自然豊かな景観形成が求められます。

(1) 都心ゾーン

【徳島の中心部を形成するゾーン】

<景観特性>

JR 徳島駅（駅ビル）、県庁、市役所や大型商業ビル、古くからの商店街など、商業・業務などの都市の中心的な機能が集積した徳島の顔となるゾーンです。



JR 徳島駅ビル



新町川水際公園



新町川からの眉山

都心ゾーンの生活景観は、商業・業務空間と居住空間が混在した賑わいのあるまち並みを構成しています。また、通りをひとつ入れば、歴史や文化と触れ合うことのできる都心のなかの落ち着いた空間が広がっています。



商業・業務空間と居住空間が混在したまち並み



小学校前の通り



眉山東側山麓の住宅地

近年では、建物解体に伴う空地や駐車場への転用などの暫定的な土地利用によるまちなかの空洞化が見られます。都心の目指すべき景観が損なわれる要因ともなっていることから、緑化や修景等によるまち並みの連続性に配慮した景観の保全が必要です。

<景観形成の目標>

徳島の顔にふさわしい風格と華やかさや賑わいを備えた都心景観

方針

中高層建築物が建ち並ぶまち並み景観の向上により、徳島の顔にふさわしい風格と華やかさや賑わいを備えた都心景観を創りだします。

徳島の顔にふさわしい風格ある
まち並み景観の向上に努めます

華やかさや賑わいを備えた
都心景観を創りだします

(2) 周辺市街地ゾーン

【都心を囲むように広がる市街地を形成するゾーン】

<景観特性>

都心ゾーンを囲むように広がる市街地であり、中低層建築物を中心とした建築物が比較的高密度に建ち並んでいます。また、徳島の景観を特徴づける眉山の眺望や水路との関わりが密接なゾーンでもあります。



国道 192 号沿いの中低層建築物



眉山北側山麓のまち並み



佐古川沿いの景観

周辺市街地ゾーンの生活景観は、住宅地を中心としたまち並みが広がっています。前庭のある家が建ち並び、生垣により緑化されたまち並みが見られます。



緑あふれる住宅地



見通しの良い平坦な土地に並ぶ家

<景観形成の目標>

多くの人々が集まる場所にふさわしい秩序あるまち並み景観

方針

周辺との調和や落ち着いた色彩などへの誘導により、秩序あるまち並みの保全と多くの人々が集まる市街地にふさわしいまち並み景観を創りだします。また、良好な生活景観の形成のため、住宅地の緑化など住環境の向上を推進します。

秩序ある市街地の
まち並み景観を目指します

良好な生活景観を形成し、
住環境の向上を推進します

(3) 田園集落ゾーン

【のびやかな田園景観が卓越するゾーン】

<景観特性>

大部分が市街化調整区域である田園集落ゾーンは、田園景観が広がり、寺社林や屋敷林などのまとまった緑がアクセントとなっています。一方で、国道 11 号、国道 192 号、国道 55 号等の幹線道路沿いを中心にロードサイドショップなどの立地が進んでいます。



広がる田園風景



国道 11 号沿いのロードサイドショップ

田園集落ゾーンの生活景観は、田園や川に代表される自然と調和した景観が広がっています。広大な田園風景に囲まれた集落や川沿いに家が建ち並ぶまち並みが見られます。



広がる田園風景のなかの家



田園風景に囲まれた家



川沿いに建ち並ぶ家

<景観形成の目標>

田園景観と調和したのびやかな景観

方針

広がる田園風景や寺社林・屋敷林などのまとまった緑を大切にし、田園集落にふさわしいのびやかな景観の保全に努めます。また、周辺景観を損なう無秩序（大規模）な開発行為などに対して適切な規制・誘導を行います。

田園集落にふさわしい景観の
保全に努めます

田園風景を損なわないような
景観まちづくりを進めます

(4) 農山村集落ゾーン

【山間地の自然景観が卓越するゾーン】

<景観特性>

農山村集落と周囲の山々により構成されているゾーンです。



農山村集落



大神子海岸

農山村集落ゾーンの生活景観は、山々の豊かな自然のなかの集落のほか、計画的に整備された戸建て住宅団地で形成されています。



山麓に建ち並ぶ家



生垣が連なる戸建て住宅団地

<景観形成の目標>

山々に囲まれたやすらぎのある里の景観

方針

集落と周囲の山々との関係性を大切にし、周囲の自然と調和したやすらぎのある農山村集落の景観の保全に努めます。また、周辺景観を損なう無秩序（大規模）な開発行為などに対して適切な規制・誘導を行います。

周囲の自然と調和した農山村集落の景観の保全に努めます

周辺景観を損なわないような景観まちづくりを進めます

4-3 重要な景観に関する景観形成方針

2章で整理した5つの「重要な景観」について、3章で掲げた本市の「景観形成の基本方針」に基づき、景観形成方針を定めます。また、重要な景観の代表的な場所について、より具体的な方向性を定めます。

(1) 重要な景観に関する景観形成方針

1) 都市の玄関としての景観

「都市の玄関としての景観」は、訪れる人の都市への入り口であり、その眺めは本市の第一印象となるとともに、まちの魅力を人々に伝える役割を担う重要な景観です。

「玄関性」を持つ場所とは、交通体系のなかで、重要な景観の結節点や河川の橋上などの視界が開けるような場所であり、訪れる人々の印象に残る重要な場所と考えます。

その一つは、本市へのアプローチ道路（吉野川大橋（視点場））や水上交通からの眉山（シンボル景観）への眺望であり、重要な景観として保全することです。

もう一つは、多くの人を訪れる交通ターミナルである JR 徳島駅周辺であり、徳島の顔となる賑わいのある都市的空間として景観まちづくりを行います。

また、都市の玄関は道路などの新たな交通網の整備に伴う変化が考えられることから、見直しや追加を行います。

方針

- 都市の玄関口からの眉山（シンボル景観）への眺望景観を保全します
- 徳島の顔となる賑わいのある都市的空間を創りだします

2) 道路景観

道路沿いの景観は、多くの人が目にする景観です。

新町橋通り（シンボルゾーン）などに代表される場所では、周辺景観との調和とまち並みの連続性に配慮し、通りや公共空間への正面性や開放感のある楽しい雰囲気づくりに努めるなど、徳島の顔にふさわしい魅力的な賑わいのある景観形成を図ります。

また、日常的に利用される幹線道路では、周辺景観との調和や落ち着いた色彩などへの誘導により、秩序ある快適な道路景観を目指します。

方針

- 新町橋通り（シンボルゾーン）では、徳島の顔にふさわしい魅力的な賑わいのある景観形成を図ります
- 周辺景観との調和を図り、秩序ある快適な道路景観を目指します

3) 歴史・文化景観

本市は、城下町として発展し、近代以降、数々の都市計画によって都市基盤が整備されてきましたが、徳島大空襲で市街地の大半を焼失しました。

都心部の公園としても親しまれている徳島城跡、寺町界隈から連なる眉山山麓周辺、八万町夷山の石堀は、江戸時代からの歴史や文化を今日もなお、まち並みに残しています。また、市内には四国霊場八十八箇所のうち13番、14番、15番、16番、17番の5つの札所があり、古くから「五箇所参り」として親しまれています。こうした歴史や文化を保全するとともに、継承するための整備を行い、後世に残るまち並みを創りだします。

方針

- 歴史的なまち並みを保全し、後世に継承します
- 歴史的な名所周辺では、周辺景観と調和したまち並みを創りだします
- 徳島城跡の眺めや徳島城跡からの眺めを保全します

4) 水辺景観

本市には、シンボルである吉野川をはじめ、中心市街地に位置する「ひょうたん島」を形づくる新町川や助任川など、大小さまざまな河川が網状に流れ、昔から人々の生活と密接な関わりをもってきました。

これまでも、市民と行政の協働によるまちづくりが積極的に行われ、親水公園や河川沿いの遊歩道整備、イベント開催など多数の取り組みが実施されています。このような水辺を舞台としたまちづくりに合せて、水辺の景観形成を進めます。

方針

- 人々に親しまれる水辺の空間づくりを行います
- 沿岸に親水公園などの公共空間をつくり、憩いの空間づくりを行います
- 水上からの水辺やシンボル景観への眺めに配慮した空間づくりを進めます

5) 海岸景観

海に面した本市では、河川が運んだ土砂が堆積した砂浜や山地が海にせり出すことによって創りだされた岩礁海岸が自然海岸として残されています。数少ない自然海岸は、人々にとって自然とふれあう貴重な場となっています。

今後は、無秩序（大規模）な開発行為によってその自然が失われていく可能性があることから、適切な規制・誘導により、海岸景観を保全します。

方針

- 周囲を自然で囲まれた海岸景観を保全していくために、無秩序（大規模）な開発行為に対する適切な規制・誘導に努めます
- 海岸景観における人工物の構築などは極力避けます
- 景観保全のための海岸利用におけるマナーやルールづくりに努めます

(2) 重要な景観の代表的な場所に関する景観形成方針

1) 代表的な「都市の玄関としての景観」

① 徳島駅前周辺

<景観特性>

JR 徳島駅前には、バスターミナルもあり、交通結節点の機能を持った本市の玄関口として、昼夜問わず人々が行き交う地域です。駅ビルをはじめ、多くの大型商業施設が建ち並び、都会的な賑わいの景観を生み出しています。

駅前広場の中央には、ひときわ目立つワシントン椰子が並び、眉山へと続く新町橋通りの起点としても、本市の中心的な都市空間です。

<視点>

JR 徳島駅前には、多くの人々が最初に訪れる都心のターミナル空間です。

この地域の整備は、都心空間にふさわしい「徳島らしさ」を印象づけるまち並みや賑わいを創出する空間づくりを行います。



JR 徳島駅前



徳島駅前広場のワシントン椰子

方針

- 徳島の玄関口にふさわしい賑わいの空間を創りだします
- 徳島の都心空間として風格あるまちなみを創りだします
- 開放的ですっきりとした広場空間を創りだします

② 橋上から望む眉山

<景観特性>

本市には大小さまざまな河川があり、市外から中心部へ入る際には、それらの河川に架けられた橋を渡ります。これらの橋上から望む眉山は、多くの市民の心象風景として、本市のシンボル景観のひとつとなっています。

<視点>

市民にとって、吉野川大橋や大野橋などからの眉山への眺望は、ふるさとに帰ってきたと感じる景観であり、また来訪者にとっては徳島を印象づけるものです。シンボル景観である眉山への眺望景観を守り、後世に伝えます。



吉野川大橋橋上からの眉山は徳島の人々の心象風景になっている。

方針

- 橋上からの眉山（シンボル景観）への眺望景観の保全に努めます
- 眉山と調和する徳島らしい景観まちづくりを進めます

2) 代表的な「道路景観」

① 新町橋通り周辺

<景観特性>

JR 徳島駅前広場から眉山山麓に至る通りは、新町橋通りと呼ばれています。この通りには、徳島のシンボルである眉山がアイストップとして存在し、植樹帯のワシントン椰子の並木や新町川・新町橋などと相まって、シンボルゾーンの景観を創りだしています。

また、沿道には商業施設が連なり、徳島の顔として位置的、機能的、構造的にも最も重要な都市軸を形成しています。

眉山や新町川などの自然環境に囲まれたうるおいのある空間を兼ね備えた商業地域として、賑わいや楽しさを創出できる魅力ある都市空間です。



駅前広場から眉山へ続く新町橋通り



新町橋から眉山を望む



阿波おどり会館周辺

<視点>

新町橋通りは、中心市街地に位置し、徳島を代表する眉山の自然と新町橋の歴史性を有するシンボル景観であり、徳島の顔となる通りです。

この通り周辺の整備は、都市軸を形成する商業地域として、また自然景観と一体となったバランスのとれた洗練された都市空間として、華やかさと人々が行き交う賑わいや楽しさを演出する空間づくりなどが考えられます。

また、この通りを歩くと、移り変わる道路景観のなかで、新町橋では川の流れて沿って視界が広がり、正面に眉山の山腹の緑と山頂を望むことができます。ここはダイナミックに景観が変化する場所であり、またまちなかで新町川や眉山の存在感を強く感じられる場所です。このことから、景観上重要な変化点と考え、新町橋（視点場：東側歩道中央部）からの眉山への眺望景観の保全に努めます。

方針

- 眉山・新町川という徳島のシンボルである自然と調和した景観づくりを進めます
- 徳島の顔にふさわしい個性と周辺景観に調和したまち並みを形成します
- 徳島の顔としての賑わい・楽しさを演出するまち並みを形成します
- 公共空間(道路や周辺公園等)と一体となった快適な歩行者空間を形成します
- 新町橋(視点場)からの眉山(シンボル景観)への眺望景観の保全に努めます

3) 代表的な「歴史・文化景観」

① 眉山山麓周辺（寺町・大滝山周辺）

<景観特性>

眉山の東方に位置し、東は西新町や西船場の商業地に接しており、新町橋通りへ続く都心部にあります。二十数余の寺社が集まり、伝統的様式で建てられた寺社建築や築地塀風の塀が続く、落ち着いた雰囲気^{ついでい}を漂わせる場所です。

現在は、錦竜水^{きんりょうすい}が復活するなど、市民に親しまれ、中心市街地で歴史的景観を醸し出している地域のひとつでもあります。



寺町の風景



錦竜水



和田の屋本館下棟（登録有形文化財）

<視点>

眉山山麓周辺は中心市街地に位置しながらも、眉山に隣接した自然と歴史に恵まれた、落ち着いた佇まいを残す地域です。また、眉山山麓の寺社へと続く階段などは、寺社景観の趣きを深める景観資源として、後世に伝えていきます。

この地域の整備は、眉山を背景に建築物や門・塀等が歴史的情緒を与え、市民にやすらぎを提供する静的空間としての景観まちづくりが考えられます。

また、眉山山麓に連なる周辺地域の景観形成の気運の高まりをみて、歴史・文化景観として拡充を目指します。



しっくい^{しつくい}の塀が並ぶ通り

方針

- 歴史的情緒とやすらぎのあるまち並みを維持・保全します
- 中心市街地から自然（眉山）への導入空間を形成します
- 自然景観（眉山）と調和した景観づくりを進めます

② 徳島城跡周辺

<景観特性>

徳島城跡（徳島中央公園）東側の徳島町は、堀の石積みの歴史的景観と城山や公園の緑豊かな自然景観を兼ね備えた歴史的情緒と緑に恵まれた良好な景観特性を持つ地域です。

この地域では鷲の門や数寄屋橋の復元、徳島城博物館の建設など歴史的情緒を醸し出す修景整備が行われてきました。水と緑と歴史に彩られた地域として、市民に親しまれています。



堀と周辺建物



数寄屋橋と堀



鷲の門

<視点>

徳島城跡周辺は、都心部に位置しながらも、徳島中央公園や城山の良好な自然と歴史的情緒を持った地域です。

この地域の景観形成は、歴史的シンボル空間である徳島城跡と一体となった景観まちづくりを目指します。

方針

- 徳島城跡としての歴史的情緒ある景観づくりを進めます
- お堀の水を生かしたうまいのあるまち並みを形成します
- 城山や公園の緑と一体となった季節感あふれるまち並みを形成します

4) 代表的な「水辺景観」

① ひょうたん島沿岸周辺

<景観特性>

本市は、「島普請^{しまぶしん}」を中心としてまちが発展したため、都心部を河川が網状に流れています。なかでも、新町川と助任川に囲まれた周囲約6kmの島状の部分は、その形から「ひょうたん島」と呼ばれ、水辺の景観をテーマにまちづくりが行われています。南側を流れる新町川の水際公園に始まり、新町川右岸の「しままちボードウォーク」整備など、公共空間の整備が進められてきました。

平成3年度に策定された「ひょうたん島 水と緑のネットワーク構想」では、ひょうたん島沿岸をゾーンごとの特性で6つに分け、それぞれのテーマに基づく構想によるまちづくりが進められています。

また、平成23年度には、「光」をテーマとしたまちづくりの実現に向けて、「ひょうたん島光環境ガイドライン～LEDが魅せるまち・とくしまを目指して～」が策定されました。これは「ひょうたん島 水と緑のネットワーク構想」に定められた6つのゾーンごとに、光環境計画の方針を定め、異なる個性的な演出を目指すものです。



ひょうたん島



ひょうたん島クルーズ



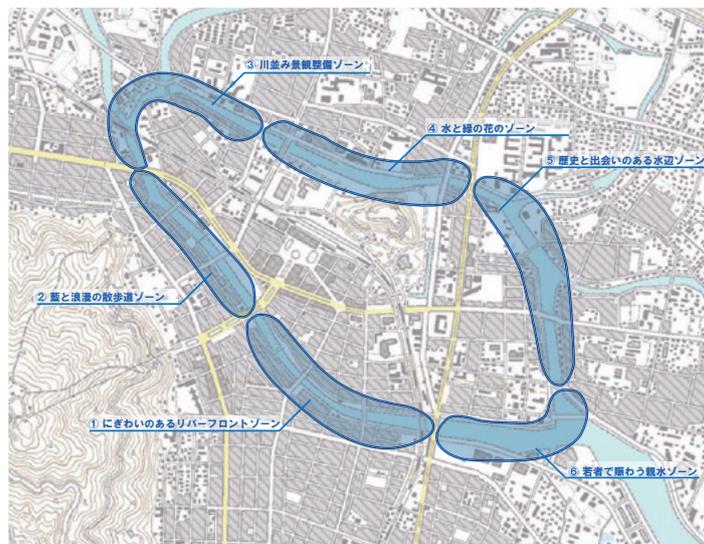
佐古大橋～前川橋



新町橋～佐古大橋



かちどき橋～新町橋



【参考】「ひょうたん島水と緑のネットワーク構想」の中で分けられたゾーン



前川橋～助任橋



助任橋～福島新橋



福島新橋～かちどき橋

「ひょうたん島光環境ガイドライン」のゾーン別光環境計画の方針

ア かちどき橋～新町橋：【にぎわいのあるリバーフロント】 インタラクティブな光

護岸ウッドデッキ遊歩道が整備され、今後の賑わいが期待されるゾーンです。夜間の光環境は、安全性を確保しながら、変化のある演出を組み込み、LED光源とセンサー機器を融合した演出で、ここを行きかう人や船舶に反応する演出を展開します。

イ 新町橋～佐古大橋：【藍と浪漫の散歩道】 静寂な光

護岸遊歩道が整備され、ゆったりと川沿いを散策できるゾーンです。夜間の光環境は、安全性を確保しながら、公園内の植栽に対しわずかに光を与える品のある静かな光環境を演出します。

ウ 佐古大橋～前川橋：【川並み景観整備ゾーン】 出会いの光

交差点がユニークな三ッ合橋が存在する北西の玄関口の一つです。夜間の光環境は、安全性を確保しながら、ひょうたん島への玄関口としての品の良い照明計画が求められます。

エ 前川橋～助任橋：【水と緑と花のゾーン】 四季を感じる光

ゆったりとした護岸遊歩道が整備され、川面を近くに感じることでできる散策ゾーンです。夜間の光環境は、安全性を確保しながら、公園内の要となる植栽に対し光を与え、四季の移ろいを感じることのできる光環境を演出します。

オ 助任橋～福島新橋：【歴史との出会いのある水辺ゾーン】 くつろぎの光

ゆったりとした川幅を感じながら散策できるゾーンです。夜間の光環境は、安全性を確保しながら、要所にある東屋の暖かな明かりが懐かしい風景を演出し、訪れた人にくつろぎの時間を創出します。

カ 福島新橋～かちどき橋：【若者で賑わう親水ゾーン】 揺らぐ光

多くのヨットやクルーザーが停泊するケンチョピアや中洲みなと公園が広がる川沿い散策ゾーンです。夜間の光環境は、安全性を確保しながら、このゾーンならではの水中でのLED演出照明を導入し、川面の表情を光により視覚化します。

<視点>

「ひょうたん島」沿岸周辺は、人々が日々の暮らしで水と親しむことのできる身近な水辺空間であり、これからも親水性に富んだ、心地よい空間づくりを進めます。

景観まちづくりに当たっては、商業地や住宅地などの場所ごとの特性を踏まえ、公共空間の整備とともに、市民や事業者と積極的に協働して取り組める空間づくりを行います。

方針

- 場所ごとの景観特性を生かした水辺の景観づくりを進めます
- 親水性のある公共空間(公園等)の整備を進め、人々の生活と水辺空間が調和した憩いの空間づくりを進めます
- 川にかかる橋梁の修景を図ります
- 水辺や対岸からの正面性や開放感、緑豊かなうるおいのある水辺のまち並みを形成します

② 新町川沿岸周辺

<景観特性>

中心市街地を東西に流れる新町川は、歴史的に水運の中心として活況を呈し、城下町徳島の川の歴史の中核となった場所です。なかでも船場はその名のとおり船着場のことで、大正時代までは藍の取引が盛んに行われ、多くの船が出入りしていました。

現在は、新町川に映る藍蔵の美しい眺めは姿を消し、新町川水際公園や藍場浜公園と一体となった魅力ある都市型ウォーターフロントとして、地域にとっても、また市民にとっても代表的な徳島の景観となっています。



新町川水際公園

<視点>

新町川の富田橋から仁心橋の間の左岸には、河川に沿って带状に公園が整備され、水辺と一体となったオープンスペースが開放感を与え、本市の中心部に広がる環濠河川のなかでも最も特徴的な地域となっています。また、都市環境にあって、自然や緑に接する機会を有する数少ない貴重な空間でもあります。



しんまちボードウォーク

新町川は近年、水質も改善され、水際公園では川面につながるオープンスペースの『水の広場』が整備されるなど、風景を眺めたり、水にふれ合ったり、水遊びのできる市民の憩い場となっています。

- | | |
|----|--|
| 方針 | <ul style="list-style-type: none"> ○特色ある新町川水辺空間にふさわしいまち並みを形成します ○新町川や対岸への正面性や開放感に配慮したまち並みを形成します ○中心商業地にふさわしい賑わい・楽しさを演出するとともに、公共空間（公園等）と一体となったゆとりとやすらぎのあるまち並みを形成します ○まち並みの連続性や対岸からの眉山への眺望景観に配慮します |
|----|--|

③ 助任川沿岸周辺

<景観特性>

城山の北側にある助任川沿岸は、徳島中央公園と助任川河岸緑地の2つの公園を有するとともに、城山を間近に望め、緑豊かな自然を感じる地域です。

助任川北岸の前川町は、川沿いの公園の緑と道路を挟んで、中低層住宅が並んでおり、南向きの質の高い住宅地が広がっています。



徳島中央公園



城山



助任川河岸緑地

<視点>

助任川周辺は、城山、徳島中央公園、助任川河岸緑地と自然が豊かな場所です。城山と助任川を望む川の北側は、JR 徳島駅に近く、南向きであることから、将来、中高層住宅が計画されることが予想されます。城山の眺めと助任川や公園の一体的な広がりが生み出すスケール感のある空間を生かした、景観誘導を適切に行います。

方針

- 助任川の水辺を生かしたうらおいと安らぎのあるまち並みを形成します
- 城山や公園と一体となった季節感あふれるまち並みを形成します

5) 代表的な「海岸景観」

① 大神子・小神子海岸周辺

<景観特性>

大神子・小神子海岸は、それぞれ日峯大神子広域公園の北端、南端に位置しています。四国山地の残丘である日峯山が海に突き出し、入江となった海岸は弓状の岩礁海岸です。これらは防波堤のない海岸で、砂浜の手前には松林が広がり、後背地に山々の緑を有する自然環境豊かな海岸景観を生み出しています。



おとめ石の大神子海岸

<視点>

大神子・小神子海岸は、周囲に人工建造物の少ない自然溢れる海岸です。今後は、さらに人々と海とのつながりを創出し、また海岸景観を保全するために、周囲の無秩序（大規模）な開発行為などに対する規制・誘導を適切に行います。

方針

- 海岸景観の保全に努めます
- 周囲の無秩序(大規模)な開発行為などに対する規制・誘導を適切に行い、自然溢れる空間とします

② 小松海岸周辺

<景観特性>

小松海岸は、吉野川の河川が運ぶ土砂が堆積して創りだされた砂浜海岸で、周辺には防風林の松林が広がっています。ここには市内唯一の海水浴場があり、夏は多くの人々で賑わっています。

また、自然豊かな環境である一方、心ない人によるゴミ投棄や漂流ゴミの問題、建築行為や広告物の設置等が進むなど、周囲の環境の変化が徐々に良好な海岸景観に影響を及ぼし始めています。



市内唯一の海水浴場の小松海岸

<視点>

小松海岸周辺は、本市では数少ない砂浜が広がる海岸です。小松風致地区の一部に指定されており、海岸景観の保全のために、周囲の無秩序（大規模）な開発行為などに対する規制・誘導を適切に行います。

方針

- 海岸景観を保全するためのマナーづくりなどに取り組みます
- 周囲の無秩序(大規模)な開発行為などに対する規制・誘導を適切に行い、自然環境と調和した景観づくりを進めます